

高良鉄美後援会（沖縄事務所）

〒903-0803 沖縄県那覇市首里平良町1-18 津嘉山ビル102号室  
TEL: 098-885-7171 FAX: 098-885-7181

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館712号室  
TEL: 03-6550-0712 FAX: 03-6551-0712【メール】takara-okinawa@takara-okinawa.jp  
【タカラ鉄美 公式サイト】takara-okinawa.jp

6月12日 名護市街頭演説会にて2期目に挑戦するイハ洋一さんとともに

## 2022年沖縄復帰50年 平和憲法適用50年

日頃より、後援会、支援者の皆様には多大な支援を賜り大変感謝しております。

5月15日、復帰50年を迎えました。75年前に日本本土では平和憲法が施行されましたが、沖縄では四半世紀のブランクがあります。この間に、沖縄は平和憲法の価値と必要性を実感する体験を何度も重ねてきました。だからこそ「平和憲法の下への復帰」は、単なるスローガンにとどまらず、憲法の保障する基本的人権が「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果（憲法97条）」であり、「過去幾多の試練に耐え（同条）」てきた所産であることを証明するものでした。復帰運動は沖縄住民の「恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利（憲法前文）」を求める強い訴えでした。復帰は、日米間の交渉、調印、批准で形式的に完了した数年の動きで実現したのではなく、沖縄戦後の27年間の実質的米軍統治の下で、住民が島ぐるみで復帰運動を展開して勝ち取ったものでした。

沖縄が公式に日本本土から、そして平和憲法からも分離された「屈辱の日（対日平和条約発効の4・28）」は70年を迎えました。そして同日に発効し、日本における米軍駐留の根拠となった（旧）安保条約からも70年が経ちました。その日本駐留米軍の基地は復帰から50年経っても沖縄に約7割が集中する。沖縄の過重な基地負担は半世紀前と変わっておらず、むしろ自衛隊配備によって、実質的な基地の重荷はより大きくなっているといえます。

復帰当日付で参議院の沖縄復帰50年決議が出される予定でした。しかし、与野党間の決議案作成の段階では合意を得ていた「地位協定の見直し」という文言をめぐる紛糾し、15日には間に合いませんでした。地位協定は日本の主権の問題が大きく関わる。70年前に「主権回復」したはずなのに、実体は「主権」（最高権）という自覚を日本政府が持ち合わせているか疑問符が付く。米軍基地は治外法権

ではないのです！

沖縄で米軍基地から新型コロナ感染が急拡大し、観光業を中心に沖縄経済にもいまだ影を落としています。この問題は、地位協定によって入管法、検疫法など30近い特別法や適用除外等が作られ、米軍人等に特権、免除を与えた結果、大きな被害を生じさせた1例です。地位協定の抜本的見直しは、沖縄の求めている「復帰」の姿が未来に向けて問われている課題なのです。

戦後50年を迎えた1995年、米兵による少女暴行事件が起こりました。その際、起訴されるまでは米兵の身柄が引き渡されないという地位協定の規定が県民に衝撃を与えました。米軍統治下で、人間の尊厳を踏みにじった、少女暴行殺人事件を彷彿させる蛮行に、県民の怒りが爆発し、復帰後初の県民総決起大会（10.21）が開催されました。米軍に対して裁判権を否定され、県民の人権が蔑ろにされていた復帰前の状態が、記憶によりがえりました。10.21大会決議で採択された項目に「地位協定の改定」がありました。翌96年9月8日の県民投票では「基地の整理縮小と地位協定の改定」が問われ、賛成が89%を超える圧倒的な意思を示しました。

復帰50年の現在でもPFAS汚染問題や各種の燃料流出事故に対する立入り調査は地位協定によって阻まれています。県の「新たな建議書」にも、県議会決議にも「地位協定の抜本的な見直し」が盛り込まれました。それなのに「地位協定の見直し」さえも入れないどころか、削除に走っているのは、復帰50年にして「復帰措置の建議書」を二度も踏みにじられた思いです。沖縄県民は子孫の未来のために、これからもあきらめることなく、地位協定の抜本的改定を強く求め続けていくことを確信しています。共に歩みを進めてまいりましょう。

参議院議員 高良鉄美

## 第208回 国会活動報告

今年1月17日に召集された通常国会(第208回国会)は、6月15日に閉会しました。

通常国会で成立した法案は、閣法61本、議員立法17本の計78本でした。

今国会では、法務委員会や行政監視委員会、外交防衛委員会で、「法の支配」についての認識を、古川禎久法務大臣、金子恭之総務大臣、鈴木貴子副大臣に質問しました。

通常国会初質疑となった3月8日の法務委員会では、古川法務大臣が所信表明も行わないうちに、大臣就任直後に死刑囚3人に死刑執行したことについて、「法の支配」の重要な内容である適正手続きの観点からも疑問があるとして、強く抗議しました。

伊波議員の差し替えで行った4月4日の行政監視委員会では、読谷補助飛行場における米軍への土地使用履歴に関する行政文書が5年以上も放置されていた問題を取り上げました。国民の「知る権利」の観点から問題であると追及したのに対し、総務省から、行政文書の取り扱いの期間についてのルールがあることが示されました。これを受けて、後日、防衛省から謝罪と今後の対応について説明がありました。

法務委員会では、選択的夫婦別姓や通称使用、外国人技能実習制度を中心に質問しました。

4月14日の質疑では、107人の裁判官が通称使用をしていることが明らかになりました。裁判官の通称使用は、先輩議員である糸数慶子議員(当時)の求めで実現したものです。導入当初の2017年9月には、裁判官18人が通称使用を申し出ましたが、今回、100人を超えていたことがわかりました。

法案審議では、民事訴訟法や刑法という国の重要な法律の改正にもかかわらず、十分な議論が行われないうまま改正されることに強く抗議しました。IT化を推進する民事訴訟法改正案に期間限定裁判が盛り込まれたこと、拘禁刑の創設の刑法改正案に侮辱罪の重罰化が盛り込まれたことについては、いずれも、憲法で保障された国民の権利が侵害される恐れが、日弁連や市民団体からも指摘されてきましたが、懸念が全く解消されなかったため、反対討論を行いました。

6月2日の外交防衛委員会では、伊波議員の差し替えで初質問しました。憲法の最高法規性が蔑ろにされ、日米安保と地位協定が憲法より上位に扱われてきたことを指摘し、「法の支配」の内容の適正手続きを踏まずに強行されている辺野古新基地建設は、銃剣とブルドーザー、から補助金とブルドーザーに形を変えた「人の支配」である、と主張しました。

## TOPICS!



### 復帰50年と国会について

特別委員会は国会ごとに設置されますが、復帰50年を迎えた今年の通常国会で、「政府開発援助等に関する特別委員会」と「沖縄・北方問題に関する特別委員会」が「政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員会」と一つの特別委員会になったことから、沖縄を軽視するものであり容認できないため、参議院会派「沖縄の風」として抗議する声明を出しました。

復帰50年の参議院決議は、日米地位協定の見直しをめぐり、与党が盛り込むことを拒否したため、本会議での決議が見送られました。このことは、50年たっても沖縄が軽視されてきたことを露呈する格好となりました。



### 入管行政について

名古屋出入国在留管理局に収容されていたスリランカ人女性が死亡した事件や難民認定の問題のほか、外国人技能実習生への人権侵害問題を取り上げてきました。

外国人技能実習制度廃止キャラバンが沖縄と北海道で

スタートし、私も沖縄でのイベントに参加しました。長時間労働、賃金不払いなどの労働関係法令違反、実習実施機関等による人権侵害行為、保証金の徴収や技能実習生に対する強制帰国の問題など、数多くの問題が早くから指摘されていましたが、改善されるどころか、日本社会の歪が、弱い立場の外国人をさらに追い詰めています。委員会質疑でも、外国人技能実習制度は廃止したうえで、外国人労働者の権利を保障した新たな制度創設を求めました。



5月10日 難民保護法・入管法改正案提出



# 活動記録スナップ



2021年12月24日  
「うりずんの会」石垣島自衛隊視察



1月17日「止めよう!改憲発議」総がかり行動



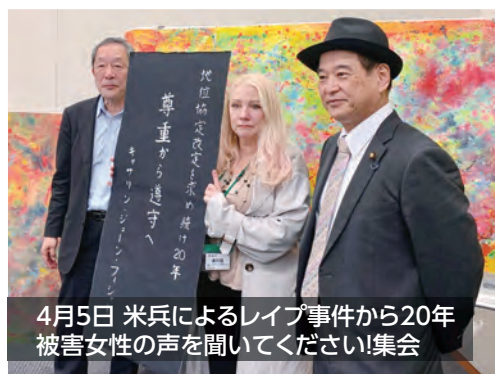
2月3日「外交資料館50年」視察



3月8日「国際女性デー」ミモザを携えて  
法務委員会へ



3月19日「 Mori山政和」応援  
伊波洋一参議院議員と



4月5日 米兵によるレイプ事件から20年  
被害女性の声を聞いてください!集会



4月25日「PFAS大会決議」防衛局要請行動



4月29日 イハ洋一さん出馬会見



5月7日 宮城イチロさん事務所開き



5月10日 元山仁士郎さん  
ハンガーストライキ激励



5月13日「社大党 復帰50年宣言」記者会見



5月14日「平和行進」到着式挨拶



5月22日  
技能実習制度廃止!全国キャラバンin沖縄



6月4日 第87回社大党定期大会



6月4日 辺野古ゲート前県民集会



沖縄選挙区 参議院議員候補  
会派「沖縄の風」代表

イ  
ハ  
洋一

ウチナー  
沖縄の声を国会へ!

支援のお願い イハ洋一後援会

◆ゆうちょ銀行

(郵便局からの振込) 01740-5-122219

(他金融機関から)(店番一七九) 当座 0122219

7月10日 日 は、参議院議員選挙の投票日です。  
タカラ鉄美はイハ洋一さんを応援しています!

//////////////////// イハ洋一さんプロフィール //////////////////////

- 1952年宜野湾市嘉数生まれ
- 普天間高校・琉球大学理工学部卒
- 1974年宜野湾市役所入職 市職労委員長 中部地区労務局長
- 1996年県議会議員に初当選 2期務める  
県立子ども病院、平和祈念資料館問題など主に教育福祉分野で手腕を発揮。
- 2003年宜野湾市長に初当選 2期務める  
行政IT化を推進し業務の大幅負担軽減を実現。  
西海岸の区画整理、企業・ホテル、琉球海炎祭を誘致し、現在の発展につながる基礎をつくる。在任中に沖縄国際大学へ米軍ヘリが墜落・炎上する大事故が起きる。日米両政府へ要請行動を重ね、市民・県民の安全を守る立場で取り組む。

- 2016年参議院議員に初当選  
憲政史上初めて会派名に「沖縄」が入った会派「沖縄の風」を結成。沖縄問題の解決に向けて他の政党会派と連携して取り組む。超党派の沖縄県選出議員でつくる「うりずんの会」事務局長。  
首里城再建や新型コロナ対策、沖縄振興など、さまざまな課題を政府へ要請。現在は外交防衛委員会、行政監視委員会、ODA・沖縄北方特別委員会に所属。これまでの経験と実績を活かし、沖縄の尊厳を守る立場から辺野古反対を国会で訴え、沖縄振興、北部・離島振興、コロナ禍からの経済回復など沖縄の課題解決に取り組む。  
「沖縄の声を国会へ」届けるため国会内外で奮闘中!
- 趣味 映画鑑賞、読書、スポーツ観戦
- 好きな食べ物 沖縄そば

## 支援のお願い

高良鉄美の活動は、皆様からの個人献金(個人のカンパ)で支えられています。

献金は郵便振替が手数料が少なく、便利です。職業明記をお願いします。振替申し込み、住所、氏名、電話番号、職業、メッセージ等を記していただくと、後援会まで届きます。

口座名: 高良鉄美後援会 会計責任者 高良克美

| 振込先                  | 支店名                 | 店番号 | 口座番号           |
|----------------------|---------------------|-----|----------------|
| ゆうちょ銀行<br>(郵便局からの振込) | —                   | —   | 01780-9-171205 |
| ゆうちょ銀行<br>(他金融機関から)  | 一七九<br>(読み イチナナキユウ) | 179 | 0171205        |

銀行振込の場合は、右記のQRコードから後援ホームページのフォームに、住所、氏名、電話番号、職業、メッセージを記入し、お振込みください。

